

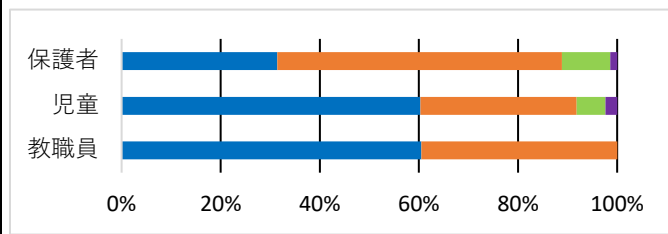
令和3年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない

①命を大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

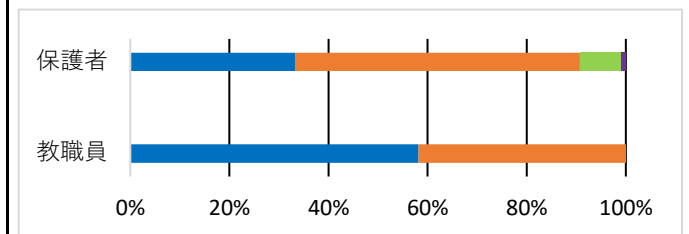
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。



2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていますか。

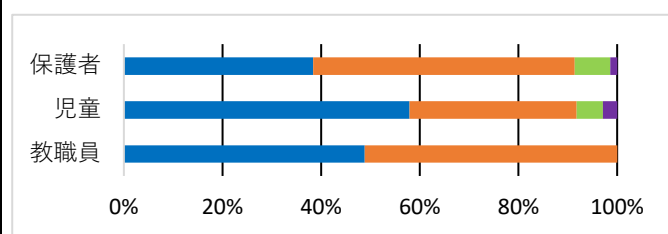


【学校より】令和2年度と比べると、保護者の肯定的意見が約4%増加している。児童、教職員においては、「そう思う」と答えた割合が増加した。道徳教育や朝からの「ちょボラ」活動の充実、毎月のきずなアンケートによる丁寧な対応が評価されたと考える。また、本年度の重点実践事項「一人一苗、一人一鉢運動の推進」により心の教育が充実した成果がみられる。否定的な意見は昨年度より少なくなったものの、保護者や児童に1割程度見られるので、真摯に受けとめ、来年度に生かしていきたい。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

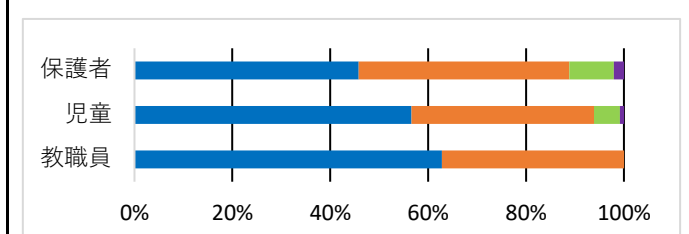
3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

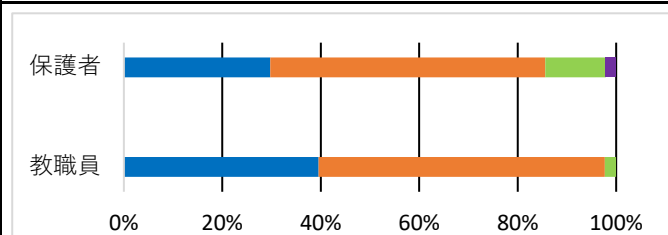


【学校より】令和2年度と比べると、授業力向上では、保護者・児童ともに約4%、肯定的意見が増加した。また、教職員は「そう思う」と答えた割合が11%増加した。また、タブレット端末活用では、前年度に比べ、肯定的意見が保護者、児童、教職員ともに増加した。本年度の重点実践事項「『教わる』授業から『学びとる』授業への転換」「プロジェクト学習の推進」「ICT活用の推進」により授業改善を行ってきたことが評価されたと考える。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

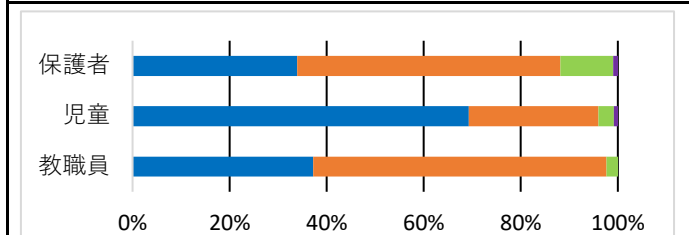
5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



6 共生社会を担う人材の育成

「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。

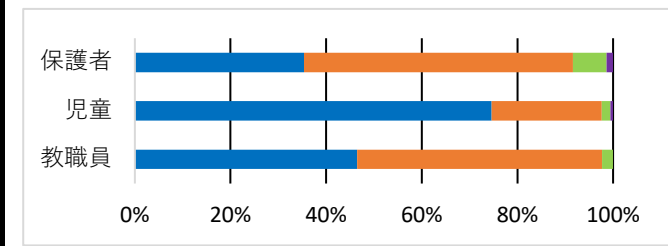


【学校より】学校の支援体制では、令和2年度と比べると、保護者はほぼ横ばい、教職員は、肯定的意見が増加している。共生社会を担う人材の育成では、今年度新しい項目なので比較できないが、教職員97%、児童96%、保護者88%が肯定的意見という結果となった。これまで培ってきた熊本支援学校との交流教育や校内での交流教育が評価されたと考える。来年度は、さらに、児童理解朝会等で、ケース会議の報告を必ずおこなうなどして、職員の共通理解を図っていきたい。

④学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

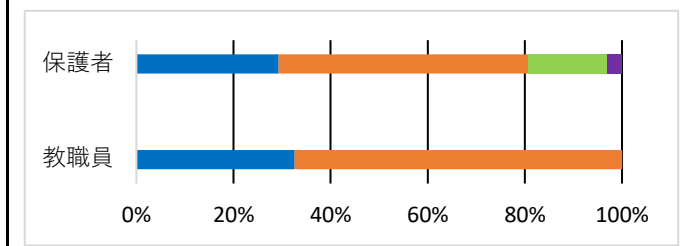
7 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。



8 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

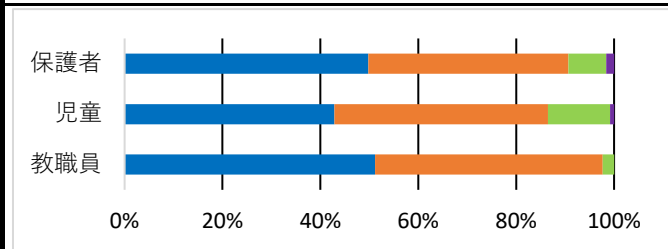


【学校より】安全と事故防止では、令和2年度と比べると、肯定的意見が保護者、児童、教職員ともに増加した。家庭や地域との連携協力では、肯定的意見が前年度より保護者、教職員ともに増加した。本年度の重点実践事項「校内環境の整備」や毎月の安全点検及び修繕に取り組んだことの結果であると考えられる。また、交通安全協会の方やPTAによる毎日の交通指導により児童の安全確保がなされているといえる。今後も、家庭や地域との連携協力を図りながら、安全対策等に取り組んでいきたい。

⑤本校の教育

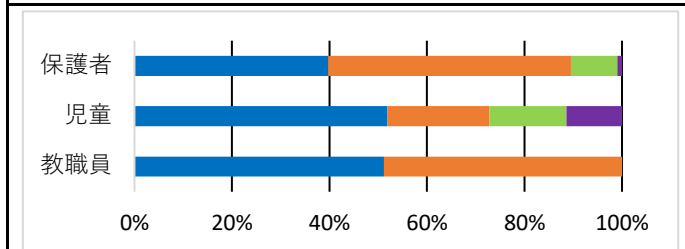
9 あいさつ

学校は、あいさつができる児童の育成に努めていると思いますか。



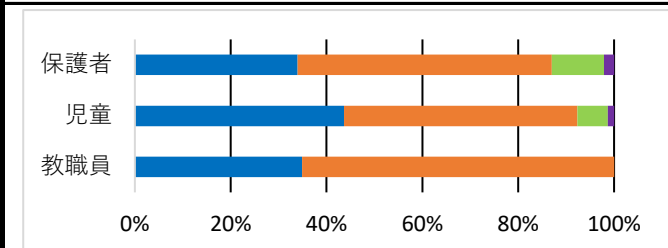
10 体力向上

学校は、積極的に運動する児童の育成に努めていると思いますか。



11 主体的な学び

学校は、主体的に考え学ぶ児童の育成に努めていると思いますか。



【学校より】令和2年度に比べると、あいさつでは肯定的意見が、保護者、教職員ともに増加した。しかし、児童は減少している。体力向上では、肯定的意見が前年度より保護者、教職員ともに増加したが、児童では、減少している。今年度新規質問項目として設定した主体的な学びでは保護者、児童、教職員ともに、肯定的意見が約9割以上であった。児童の評価が下がった一因として、コロナ禍により、大きな声や運動が制限されていることが考えられる。

来年度の具体的な取り組みについて

来年度も、学校教育目標「主体的に考え、仲間と協働し行動できる子どもの育成」を目指して、チーム出水南で取り組んでいきたい。昨年度よりも、肯定的な意見が増加していることを励みに、子ども一人一人に丁寧に対応し、成長を支えていきたいと考えている。具体的には、4部会（徳・知・体・環境）での重点事項を中心に、取り組む目標を明確にし、実践、評価、改善へと職員が協働し、取り組んでいきたいと考えている。徳「進んで人の役に立ち、さわやかな挨拶をする子ども」知「自ら学び、主体的に社会の課題を解決する子ども」体「命を大切に、意欲的に運動に親しむ子」環境「最適な教育環境の整備」を目指して取り組んでいく。

学校関係者評価

- ・コロナ禍の中、先生方が以前にも増していろいろな面でご努力とご苦勞をされていることがわかる。先生方が笑顔を見せることが子どもたちにとって何よりと思う。くれぐれも体調に気を付けていただきたいと思う。
- ・コロナウイルス防止で学校への参加ができないが、子どもたちの朝の登校の様子を見てみると、元気にあいさつが年々よくできている。元気な様子で何事もうまくいっていると見受けられる。